

当社では、米国サステナビリティ会計基準審議会(SASB:Sustainability Accounting Standards Board)が公表するESGの情報開示の枠組み「SASBスタンダード」の2023年12月度版を参照し、情報を整理・開示しています。今後も開示内容の拡充に取り組んでいきます。

■ Environment (環境)

トピック	指標／サブ項目	コード	対応状況やデータ等
GHG排出量	Scope1 直接排出量	RT-CH-110a.1	63.8 t-CO ₂
	Scope2 間接排出量		835 t-CO ₂ (マーケット基準) 1,632 t-CO ₂ (再エネ購入を考慮しない場合)
	Scope3 全カテゴリ合計		42,917 t-CO ₂ (全15カテゴリ算出)
	Scope1排出量管理のための長期・短期戦略または計画、排出削減目標、および目標に対するパフォーマンス分析の説明	RT-CH-110a.2	2030年度までに国内Scope1・2の総排出量を実質50%削減(2017年度比)。2050年にCO ₂ 排出量実質ゼロを目指す。 2025年度進捗 マーケット基準によるScope1・2合計は899 t-CO ₂ (2017年度比34.1%削減)。2030年目標(50%削減)に向け着実に進捗しています。
大気環境	大気への汚染物質排出量: (1)NOx(N ₂ O除く) (2)SOx (3)揮発性有機化合物(VOC) (4)有害大気汚染物質(HAP)	RT-CH-120a.1	N/A 製造工程において該当する大気汚染物質は排出しません。
エネルギー管理	(1)総消費エネルギー	RT-CH-130a.1	15,086 GJ
	(2)グリッド電力の割合		93.6%
	(3)再生可能エネルギーの割合		約49%
	(4)自己生成エネルギーの合計		無し
水資源管理	(1)総取水量	RT-CH-140a.1	38,078 m ³
	(2)総消費水量		15,821 m ³ (総消費水量は[水使用量-水排出量]で算出)
	および水ストレスが高い・非常に高い地域の割合		水ストレス: 尼崎工場・長岡工場 低・中(10-20%) (WRI(World Resources Institute:世界資源研究所)のAquaduct Water Risk Atlasを用いて調査)
	水管理リスクの説明、およびそれらリスクを軽減するための戦略・取り組みの説明	RT-CH-140a.2	水は主要原料であり、製造量増減に伴い使用量が変化します。設備洗浄回数の適正化・容器自動洗浄装置の活用等により使用量削減に取り組んでいます。排水は処理設備にて規制基準内に処理し下水道へ排出しています。
有害廃棄物管理	水質に関する許可、基準、規制に関する違反件数	RT-CH-140a.3	1件。排水処理装置の不具合による一時的な基準値超過。速やかに是正しました。
	(1)有害廃棄物の総発生量	RT-CH-150a.1	有害廃棄物(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による特別管理産業廃棄物) 総量: 199t (2024年度 152t より46.2t増、+30.3%)
	(2)リサイクル率		約92.7%
コミュニティ・エンゲージメント	コミュニティの利益に関連するリスクと機会を管理するためのエンゲージメントプロセスの説明	RT-CH-210a.1	尼崎事業所は、自治体公表のハザードマップを参考に自然災害への備えを行い、非常時の食料・飲料等を必要数以上に備蓄しています。災害発生時の一時避難所として近隣自治会に周知しています。また、兵庫県尼崎市および新潟県長岡市において「メツクの森づくり」活動を社員・家族主体で実施しています。兵庫県「SDGs債(グリーンボンド)」および北九州市「サステナビリティボンド」への投資・支援を継続しています。 ➡ P22

■ Social (社会)

トピック	指標／サブ項目	コード	対応状況やデータ等
労働安全衛生	(1a) 総記録可能事故率(TRIR) - 直接雇用者	RT-CH-320a.1	0.0
	(1b) 総記録可能事故率(TRIR) - 非直接雇用者		0.0
	(2) 致死率(直接雇用者・非直接雇用者)		0%
	化学物質ばく露に伴う長期的(慢性的)健康リスクの特定・軽減のための管理システムの説明	RT-CH-320a.2	定期健康診断・特殊健康診断・メンタルヘルスチェック等、各種診断の受診率はほぼ100%。健康診断後の有所見者への再検査・栄養士への相談その他を実施しています。
使用段階における効率性を考慮した製品設計	使用段階の効率性を考慮して設計された製品からの収益	RT-CH-410a.1	次々世代を見越した中長期的な活動として、社会課題改善型の製品開発・シーズ発信を行っています。2025年度も引き続き環境負荷低減と性能確保を両立させた製品開発を推進しています。
製品スチュワードシップ	GHSカテゴリ1・2の健康および環境有害物質を含む製品の割合	RT-CH-410b.1	当社製品の多くはGHS分類のカテゴリ1および2に該当します。どの製品も化学物質を使用している限り危険有害性があると認識し、製品を提供する際にはSDSやラベル表示にて危険有害性情報を伝達しています。危険有害性情報を踏まえたうえでの取り扱いをさせていただき、お客様にお知らせしています。
	ハザード評価を受けた製品の割合		全製品について危険有害性評価・SDS作成済み。割合(%)の算出は行っていません。
有害物質管理	(1)懸念される化学物質を管理し、(2)人体または環境への影響を軽減する代替品開発戦略の説明	RT-CH-410b.2	化学薬品メーカーとして、設計開発から調達・製造・廃棄に至るまで化学物質を適切に管理できるよう、関連する化学物質法規の知識向上を目指し、国内外の化学物質関連法規の社内講習会を開催しています。使用禁止物質を規定し、研究開発段階からそれらが含有しない仕組みを整えています。2025年度より、化学物質法規に関する教育を計画的に実施しています。
遺伝子組み換え作物	GMO(遺伝子組み換え作物)を含む製品の収益に占める割合	RT-CH-410c.1	N/A(該当なし)
規制対応・政策関与	産業界に影響を及ぼす可能性のある政府規制や政策提言に関連する自社の立場の説明	RT-CH-530a.1	毒劇物等の危険性を有する化学物質を取り扱い、研究・製造・保管・輸送・販売等の各段階で国内外の各種法令等の規制を受けています。化学物質に対する規制は今後ますます強まると考えられ、その規制に前向きに対応し、事業への影響が最小限に留まるように努めています。
プロセス安全	プロセス安全インシデント数(PSIC)、プロセス安全インシデント合計率(PSTIR)、プロセス安全インシデント重大度率(PSISR)	RT-CH-540a.1	重大インシデントに該当する漏洩事故件数: 0件
輸送安全	輸送事故件数(合計)	RT-CH-540a.2	6件(液漏れ2件、容器破損4件)
	うち重大インシデント件数(毒劇物等の重大漏洩)		0件

■ Activity Metric (活動指標)

トピック	指標／サブ項目	コード	対応状況やデータ等
生産高	報告セグメント別生産高(国内事業所合計)	RT-CH-000.A	19,119 t

【国内事業所の情報です】